

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	439	3年	後期	臨床検査学科	必修	画像検査学 Medical Imaging Technology	30	1
担当教員								
山口 文徳	竹内 一人	瀧 智子						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
<input type="radio"/>	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
画像診断は現在の医療では不可欠であり、また、臨床検査技師が業務としておこなう超音波検査、MRI検査、サーモグラフィーに加えて臨床診断のために利用されるさまざまな方法で得られた画像を総合的に評価する能力が必要である。本講義では、各種画像検査の基礎的知識と実際の画像を用いた診断法について理解し、さらに画像診断の臨床現場での現状や最先端技術についても学ぶことで臨床の場で役立つ画像診断能力を身に付ける。								
到達目標（授業目標）								
① 主な画像検査法の種類と基本原理を説明できる。								
② 主な画像検査法の臨床応用について説明できる。								
③ 主な画像検査法の各臓器における正常像や各種疾患における画像判読法を理解できる。								
④ 主な疾患の画像診断について説明できる。								
回 授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	総論（1） 画像検査概論について講義する。（山口 文徳）							
2回	総論（2） 各種画像検査法について講義する。（山口 文徳）							
3回	中枢神経の画像検査（1） 頭頸部の画像検査について講義する。（瀧 智子）							
4回	中枢神経の画像検査（2） 脊髄・脊椎の画像検査について講義する。（瀧 智子）							

5回	消化管の画像検査 食道・胃・腸管の画像検査について講義する。(竹内 一人)				
6回	肝・胆・膵の画像検査 肝・胆・膵・脾の画像検査について講義する。(竹内 一人)				
7回	泌尿器・生殖器の画像検査 腎・尿管・膀胱・尿道、副腎、生殖器の画像検査について講義する。(竹内 一人)				
8回	胸部の画像検査(1) 肺・縦隔の画像検査について講義する。(竹内 一人)				
9回	胸部の画像検査(2) 心臓・大血管の画像検査について講義する。(濱 智子)				
10回	血管の画像検査 動脈・静脈の画像検査について講義する。(濱 智子)				
11回	表在臓器・骨格系の画像検査 甲状腺・乳腺・軟部組織、骨・関節の画像検査について講義する。(濱 智子)				
12回	総合画像診断(1) 神経系疾患の画像診断について講義する。(竹内 一人)				
13回	総合画像診断(2) 循環器系疾患の画像診断について講義する。(竹内 一人)				
14回	総合画像診断(3) 呼吸器系疾患の画像診断について講義する。(竹内 一人)				
15回	総合画像診断(4) 消化器系疾患の画像診断について講義する。(竹内 一人)				
16回					
17回					
18回					
19回					
20回					
21回					
22回					
23回					
24回					
25回					
26回					
27回					
28回					
29回					
30回					
成績評価方法及び基準					
成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし60点以上を合格とする。					
教科書	なし(講義資料を適宜配布)				
参考図書等	必要に応じて適宜紹介する。				
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)					
関連科目					
前科目	人体の構造・機能 435	生理機能検査学Ⅰ 436	生理機能検査学Ⅱ 156	臨床病態学Ⅰ(共 157	臨床病態学Ⅱ(共
後科目	447 医学検査診断学Ⅰ	448 医学検査診断学Ⅱ			
実務家教員					
医師(医療機関)	山口 文徳	竹内 一人			
臨床検査技師(医療機関)	濱 智子				
備考					